

チャンネル登録者数100万人達成

ユーチューバー～レジスタンス りよつ～

レジスタンスの6年半の歴史を振り返りよつさん12月17日、
新学生会館会議室、前川勇撮影



関西学院大学の元学生4人で構成されているユーチューバーグループ「レジスタンス」が2月13日にユーチューブのチャンネル登録者数100万人を達成した。

レジスタンスは「クソみたいな履修登録がある」「など大学生のあるあるをコメントで表現しており、今まで2500本以上の動画をユーチューブに投稿している。

メンバーの1人であるりよつさんは登録者数100万人達成について「活動を始めた当初から意識していた数字なのでとても嬉しい」と笑顔をみせた。りよつさんは元社会学部の学生である。在学中の

思い出として印象に残っている授業を聞いてみると「社会学部の授業は似た名前や内容の科目が多いので細かく覚えていない」と苦笑していた。

関学大で様々な人の性格や動きを学んだことが現在の活動に役立っている。「関学大にはチャライ人から真面目な人までいて、色んな人と触れ合えて勉強になった」と話す。

レジスタンス結成の時期は在学時に2留していた頃。同期のつかきゅんさんとパチンコで生計を立てるパチプロという職業を目指していたが、十分な収入を得ることができず、つかきゅんさんからの誘いで始めた。

レジスタンスの6年半の歴史を振り返りよつさん12月17日、新学生会館会議室、前川勇撮影

ある大学教授、ポンコツな大学生などを演じ、時には国籍の異なるキャラクターや女性役とコントの設定によって多彩に演じ分ける。

演技論について尋ねるとりよつさんは「年齢や性別、国籍などが異なる多様な人物を演じ分けるには感情移入が重要である」と熱く語る。役



関西学院大学新聞を手に持ちりよつさん12月17日、F号館前、石岡孝憲撮影

西宮市制 100 周年



2面

大阪・関西万博開幕



7面

最後によりよつさんは新人生に向けて「大学でできた友達は一生涯モノなので絶対に大事にして欲しい。自分ができるところの範囲を広げることができるとメッセージを送った。

一方でレジスタンスが人気になり大規模になったことで変わったこともあるという。「簡単にチャンネルを終わらせることができなかった。背負っているものが始めた頃よりも増えたと思う」と人気がゆえの責任も口にした。

今後については「ホラー映画などでシリアスな演技を思う存分してみたい」とアニメで培った演技力を活かしたさらなる展望を語った。

作には、感情移入をキチンとするためにアニメ鑑賞中に、キャラの気持ちを考える事を定期的に取り組んでいるようだ。



野球ファン大歓迎のベースボール居酒屋！！
店舗は阪神甲子園球場近く！！

ベースボール居酒屋&飲み放題研究所
まこっちゃん 聖地 甲子園店
〒663-8177
兵庫県西宮市甲子園七番町
9-21 藤原ビル2階



@MAKOTCHAN_MASTER



茨木のり子の詩といえ、戦争で青春を失った悔しさと哀しさ、そして生きることにの真つ直ぐさを表現した「わたしが一番きれいだ」ときや、自分の考えや価値観、感性を失うことなく自分らしくあることの大切さを強く訴えかける「自分の感受性くらいがある」どちらも戦時中を生き抜いた経験を原点として、自分らしくあることの尊さ、そして自分自身に対して正直であることのまばゆさを表している。その作品の真つ直ぐさに励まされ、心を打た

れた人は多いはずだ▼そんな茨木のり子の作品に「六月」という詩がある。人々が対等な関係であり、自然を守り、そして共生するみずみずしく彩りに溢れた光景を描いている。そして、あらゆる感情が押し込められることなく自然と湧き上がる開放的な社会を表している▼日本では、教育や雇用におけるジェンダー格差、地球温暖化による気候変動、SNSでの誹謗中傷など様々な問題が渦巻いている。それはまるで梅雨の空模様のように、なかなか晴れそうにない▼しかし、この詩は時折差し込む晴れ間のように、私たちの心に光をもたらしてくれる。今、理想を掲げ、顔を上げて生きることを諦めない美しい人と人との力を信じた

い。六月、どこかに美しい村はないか。一日の仕事の終りには一杯の黒麦酒。鉢を立てかけ、籠を置き、男も女も大きなジョッキをかたむける。どこかに美しい街はないか。食べられる実をつけた街路樹が。どこまでも続き、すみれいろした夕暮は。若者のやさしいさざめきで満ち満ちる。どこかに美しい人と人との力はないか。同じ時代をともに生きる。したしきとおかしきとそうして怒りが。鋭い力となって、たちあらわれる。



市制施行 100 周年を記念して 記念式典開催

(西百無) 第 0254 号

兵庫県西宮市は2025年4月1日で市制100周年を迎えた。

市制施行100周年を記念して西宮市は20日、西宮市市制施行100周年記念式典を西宮市民会館（アミティ・ベイコムホール）で開催した。式典は第一部と第二部に分かれて行われた。

第一部は神戸女学院大学音楽学部による演奏で幕を開けた。

石井登志郎西宮市長による式辞では西宮市が住みたい町ランキングで上位に入っていることに触れ「これからも皆様が生き生きと過ごせるまち、地域の繋がりを素地とした活発なコミュニティがあるまち、心穏やかに暮らしの生活の質を高めることができるまちを目指し取り組んで参ります」と力を込めて市の将来像を語った。

市長式辞に加えて、八木米太郎西宮市議会議長による挨拶と来賓を代表して齋藤元彦兵庫県知事による祝辞が行われた。

市制100周年記念西宮市感謝状贈呈では西宮市で活躍する100以上の団体に感謝状が贈呈された。

贈呈の最後には、司会者から「本市の100年の発展において市民皆様一人ひとりのご協力が重要であったこと、言うまでもありません」という言葉の後に、西宮市の公式キャラクター「みやたん」が登場し、市民を代表して石井市長から感謝状を受け取った。

第一部では西宮市吹奏楽団



感謝状を観客に見せるみやたん 4月20日、西宮市民会館、田爪翔撮影



西宮市制百周年記念だんじりパレード 4月20日、西宮市役所前、田爪翔撮影

教授の背中

第1回 新任の学部長はどんな方？

久米暁文学部長

今年の4月から新たに学部長となった先生方にインタビューをする連載の第一弾として、文学部長の久米暁教授にお話を伺った。

久米教授は哲学が専門であり、主に認識論・言語哲学、メタ倫理学を研究している。現代では技術の進歩が著しい。AIの倫理、生命操作の是非、環境問題への対応など、従来の価値観だけでは答えられず慎重に議論することが求められている課題が増えつつある。そのような時代にこそ哲学は必要とされるという。

例えば、自動運転について考えると、5人を轢かないためにハンドルを切ると他の1人を轢いてしまう場合に、どうすることが正しいのかという倫理的な問題を実装前に事前に考えておく必要がある。哲学の世界では、この問題を以前から議論されているトロッコ問題にあてはめて考える。

このような現代ならではの課題について久米教授は「哲学者・倫理学者が考えていた問題の応用版、今も変わらず、哲学の古典を活かすことができる。」

きる」と説く。

関学大の文学部には、哲学倫理学専修のほかに、11の専修があり、多様なアプローチで「人間とは何か」を学び研究している。久米教授は「そのような文学部で勉強するイメージや楽しさを発信し、開かれた文学部を目指したい」と力を込めた。（今村早織）



久米暁文学部長 本人提供

トロッコ問題

哲学者が提唱した著名な倫理学上の課題。制御可能なトロッコがこのまま進むと5人が引き殺されてしまうことが予期される状況で、ハンドルを切って方向を変え5人を助けるために1人を犠牲性しても良いのかという問題である。にあてはめて考える。

日進月歩 闇バイト 情報を見極める重要性

昨今、闇バイトという言葉を知りたくなる。今年2月には、ミャンマーで特殊詐欺に加入させられたとみられる日本人の高校生らが相次いで保護されるなど、事態は深刻性を増している。

兵庫県警は闇バイトについて「SNSやインターネット掲示板などで、仕事の内容を明らかにせずに、短時間で著しく高額な報酬を受け取れるなど甘い言葉で誘い、特殊詐欺の受け子や出し子、強盗の実行犯など、犯罪組織の使い捨てとなる実行者をアルバイトと称して募集しているもの」と定義している。

ただ、その手口は巧妙化され、分りにくくなってきた。日給1万円で募集するなど、普通のバイトと似たケースもある。また、応募してから闇バイトだと気が付いても個人情報や情報を握られているため逃げられない。

警察庁がまとめた2024年の犯罪統計によると、特殊詐欺やSNS型詐欺の被害額は約1990億円と前年度の約908億円を大きく上回り過去最高を更新した。闇バイトに手を出さないためには、ネットリテラシーを身につけておくことが求められる。日給5万円といった高

すぎる給与、業務内容が明確に記載されていないなど、これらの客観的にみて明らかに正当性に欠ける情報もつものにして事件に巻き込まれるケースがある。正しい情報の見極め、情報の取捨選択ができなければこのような犯罪に巻き込まれかねない。

近年では小学校低学年でもスマートフォンを当たり前のように所持している。SNS上のトラブルに巻き込まれないためにも、インターネットの正しい向き合い方を学ぶことが不可欠だ。一度足を踏み入れたら後戻りできなくなる闇バイト。SNSの節度ある利用を心掛け、一人ひとりの情報を見極める意識が求められる。「知らなかった」では済まされない。

阪神・淡路大震災から学ぶこと
30年目の節目の検証

阪神・淡路大震災から
30年
特別連載 vol.2

井戸元兵庫県知事による開会の挨拶 11月12日
西宮上ヶ原キャンパス関西学院会館、田爪翔撮影



災害復興制度研究所は1月12日「阪神・淡路大震災30年、問い直そうー私たちの被災者責任：これからの被災地責任」のシンポジウムを関西学院会館レセプションホールにて開催した。同研究所主任研究員^{チーフリサーチ}の羅賓一氏が司会を務めた。

中道基夫院長、森康俊学長、来賓の公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構特別顧問の井戸敏三元兵庫県知事が30年を迎えた阪神・淡路大震災、そして能登半島地震を踏まえた開会の挨拶をした。

水墨画家で作家のヒュン・ヘン氏が『被災の思想、難死の思想』から『われわれ』のサラダ社会へと題して特別講演を行った。阪神・淡路大震災を題材にした作品の紹介をはじめ、作家で

夫の小田実氏の体験や言葉を引用した震災と復興を語った。「阪神・淡路大震災を喰い味続けること、問い続けることが人間の復興、そして「公」と「私」の中でどう生きるかという答えを少しでも引き出せるのではないかと思います」と講演を締めくくった。

続く基調報告では、同研究所所長の山泰幸氏が災害復興制度研究所の目的と活動を語った。日本初の「復興」を目的として始まった同研究所は災害復興法制の研究から東日本大震災、熊本地震、首都直下地震などの研究、書籍の発行などを行う。

基調講演は神戸大学名誉教授で兵庫県立大学名誉教授の室崎益輝氏が行った。

復興におけるプロセスのデザインの重要性について話し、特に「災害時の記録を残すこと」「構想計画策定で住民と専門家を巻き込む意思決定を行うこと」「繰り返しの検証をはかること」の3つを強調した。能登には復興として自由に使える復興基金と頻繁な支援会議の実施で被災者目線の復興を行う重要性を訴えた。

パネルディスカッションでは最初に災害復興制度研究所顧問の山中茂樹氏が「被災者責任とは被災者の自負心と共感力である」と語り、他のパネリストに被災者責任とは何かを問いかけた。

関西国際大学名誉教授の齋藤富雄元兵庫県副知事は「被

災地行政の責任」を挙げ、阪神・淡路大震災が防災・減災の「画期」となったキーワードとして「繋ぐ」「共生」「生活復興」「事前防災」「創造的復興」を示した。

大牟田智佐子毎日放送報道情報局報道業務部次長はメディアの責任を挙げ、阪神・淡路大震災当時、メディアは「集中・反復・大量報道」を一部の避難所で行い物資の偏りなどを引き起こしたことを例に出した。「伝える責任」、「どこける責任」、「こす責任」の3つを重点的に語った。

認定NPO法人コミュニケーション・サポートセンター 神戸理事長の中村順子氏は阪神・淡路大震災からの教訓は「人を元気にして自分も元気になる

る。「得意を社会的な課題と結びつけ地域を元気にすると伝えた。また、行政、企業、非常利というセクター間の協力的重要性を投げかけた。

閉会の挨拶で、関西学院大学災害復興制度研究所顧問の岡田憲夫京都大学名誉教授は「この素晴らしい機会を受け止め、ほかの人に伝えていく努力を続けたい」と語り2日間フォーラムは終了した。

本紙の取材に来賓の井戸敏三兵庫県知事は「阪神・淡路大震災30年の復興過程というのは、その時々の人たちが地域を支えてきた。だから一つ一つの課題に対して基本姿勢を続けていくことが重要だ」と関学生に向けて訴えた。

(田爪翔)

ボランティア活動支援センター・ヒューマン・サービス支援室は3月17日、18日に行われた2024年度秋学期大学卒業式、4月1日、2日に行われた2025年度春学期入学式で募金活動を実施した。前年にも能登半島地震の募金活動を卒業式と入学式で実施しており、今回で2回目の開催となった。

募金活動は17人の学生が有志で集まり、「能登半島地震から1年が経ちましたが、まだ復興の途中です。皆様の温かいご支援が必要です」と新入生と保護者たちと呼び掛けました。それに対し、卒業生や新

入生とその保護者から「頑張ってください」「苦労様です」など温かい応援の言葉を掛けられていた。

新入生やその保護者に加えて留学生含む在学生も募金を行い、募金総額は卒業式で20万7581円、入学式で27万6567円、計48万4148円となった。

募金は日本赤十字社に義援金として、認定NPO法人日本災害救援ネットワーク（NVD）に支援金として等分された上で全額送られる。

参加した学生コーディネーター（学生CO）の白石琴乃さん（商学部2年）は「学生

や保護者の方、留学生にもたくさんの方の協力をいただけてすごく嬉しかったです。千円札五千円札がたくさん入った時はとても驚きました」と笑顔で話した。

（田川翔）



能登半島地震から1年
学生有志による募金活動



東日本大震災復興活動の今

IVUSA

る。小学校の敷地内には津波により17メートル動いたとされる石碑が今もなお横たわっている。古川さんは「メモを取ろうとしたが、石碑を動か

吉川さんのグループは山元町の若者を大都市にホームステイさせて都会での経験を山元町に還元する案を発表した。

を動かすことができなかった」と自然の驚異を口にした。追悼式は宮城県山元町にある普門寺と大地の塔で開催され、住職による読経の後、震災が発生した14時46分に合

ディングについて「具体的かつ町民の方に受け入れてもらえる復興案を考えるのはとても大変だった」と復興案を当事者の目線に立って考え出す難しさを明かした。

せて黙祷を捧げた。追悼式後に大地の塔で点灯式が開催され、イビュースの学生は手作りの灯籠を一斉に灯して山元町の犠牲者を弔った。

吉川さんは東日本大震災の復興支援活動全体の手応えに自信を見せ「震災から10年以上経って災害支援は終わり、地域支援に移りつつあるよう

最終日はイビュースが主体となつて地元の学生と共に山元町の具体性・現実性ある復興と発展を考えるグループミーティングを実施した。

に感じる。住民の方とのコミュニケーションを綿密にしてきたおかげで信頼を強く感じてゐる」と力を込めた。

(石岡孝憲)



IVUSA の学生が主体となって開催した山元町の追悼式＝3月11日、普門寺、石岡孝憲撮影

大学生が運営する子ども食堂 クマの学食

関西学院大学の学生が主体となって運営しているボランティア団体「クマの学食」は宝塚市を拠点に週に一度、子ども食堂を開催している。子ども食堂とは、主に子供に向けて無料で食事を提供する社会活動である。

クマの学食は小学生から高校生までの幅広い年齢の子どもを対象に、協賛企業から提供されたカレールイスを振る舞っている。子供たちはカレールイスが用意されるまで互いに会話を交わしつつそれぞれの学習課題に取り組む。

クマの学食創設メンバーの1人である藤沢陽さん（法学部卒業生）は設立のきっかけについて「子供食堂の知名度が上がるにつれて、貧困理由以外では訪れてはならないと人々が錯覚しているように感じる。クマの学食ではより多くの子どもが利用できるように食事場所だけでなく勉強場所としての役割もある」と強調した。参加した小学生の1人も「カレールイスがおいしくて参加しているが、友達と話せることもクマの学食に来るモチベーションになっている」と笑顔だった。

現在クマの学食の利用人数は一度の開催で40人以上に及び、藤沢さんは気軽に訪れることができる子ども食堂の実現に自信をみせている。

しかし、クマの学食には訪れた子供が直面している虐待やイジメに大学生がどう

踏み込むべきかという問題が新たに浮かび上がっている。

藤沢さんは「宝塚市の児童相談センターと連携するなど行政の力を借りて対処している」解決策を口にした。

クマの学食は活動を共にする大学生を増やすため、単発で参加するメンバーを現在募集している。創設メンバーの1人である藤橋勇人さん（法学部卒業生）は「ボランティア団体に入るのは敷居が高いと思う。しかし単発参加はその日だけの活動なので、気軽に参加して欲しい」と話した。

最後に藤沢さんはクマの学食の今後について「クマの学食を利用してくれた子供たちが大学に進んだ後、今度は子供たちを見守る大学生としてクマの学食に参加して欲しい。宝塚市でクマの学食を中心とした循環するコミュニティを作るのが夢だ」と長期的な展望を語った。

（石岡孝憲）



活動中の藤橋勇人さん11月3月19日、小浜ミニシアター、石岡孝憲撮影

福祉と釜ヶ崎を考える

大阪府大阪市西成区の釜ヶ崎という地域で夜回りの活動をしている、神学部3年佐々木愛さん（30）に話を伺った。

――生い立ち――

佐々木さんは両親が教会で福祉の活動をしている家庭で生まれ育った。「福祉の仕事の大変さを分かっていた。そのため、将来は福祉の仕事はしたくないと思っていた」と振り返る。そんな中、就職活動が軒転機となり、埼玉県のNPO法人で社会福祉士として野宿をする人を支援することになった。その後、関学大神学部に進学した。

――釜ヶ崎について――

釜ヶ崎で野宿をしている人

の背景について、佐々木さんは「野宿の理由は失業だけではない。社会福祉制度を使い

たがうまくいかなかった人など様々な経緯で野宿をしている人がいる」と説明する。

また、この地域の特徴として「貧困が現象として可視化されやすい町であること」を挙げた。

――釜ヶ崎の活動について――

日本キリスト教団を母体とする関西労働者伝道委員会、インターシップをしながら活動している。月に2回ある夜回りの活動の参加者は、牧師や教会関係者が多い。

現役の関学学生や関学の卒業

「知るカフェで

あなたに魔法をかけた」

経済学部2年 中川万有佳さん

中川万有佳さん（経済学部2年）は、今年の2月から「知るカフェ」関西学院大学前店の店長を務めている。

知るカフェは、西宮上ヶ原キャンパスのすぐ近くにある学生専用のカフェだ。関学学生

の10人に1人が利用している人気店で、無料のドリンクと安価のケーキを楽しむことができる。「Meetup」という就職活動イベントも開催している。

カフェは学生が運営しており、店長は企画や営業、人事など多岐にわたる仕事を行っている。店長の中川さんは

生も多く参加している。

佐々木さんは「まずは実際にこの地域に来てみて生活を

映像や文字だけでは分からないことがある」と呼びかける。

――福祉について――

野宿者は大学生である私たちと異なる世界の住人ではなく、同じ社会に生きる者である。私たちは福祉、つまり幸せについて共に考える必要がある。その第一歩として、まず関わることからスタートすれば良い。

――最後に――

佐々木さんは「釜ヶ崎を入口に、自分の周囲にいる人たちの考えるきっかけにしてほしい」と話す。どの町にも、どの場所にも生活上の困難に直面している人はいる。

（今村早織）

いかを工夫している」と中川さんは話す。

働いていて印象に残っていることは「これまで知るカフェを利用していなかったのがもったいなかった。また来るね」とお客さんに言われたことだ。その時中川さんは知るカフェが必要とされていると実感した。

笑顔が素敵な中川さんのコミュニケーションの秘訣は沢山質問をすることや相手に共感すること。中川さんの笑顔とあたたかいコミュニケーションはまるで魔法のよう

「愛し、愛されるお店」がモットーの知るカフェには愛の魔法が溢れている。

（今村早織）

おすすめのお店探偵！ VOL.38

猫好きのみんな、西宮北口に集合！
パティスリーミニネット

さんが手掛けている。

大盛況のパティスリーミニネットであるが、その中でも特に人気なのが、「猫缶」だ。ハチワレや三毛猫など、様々な猫を模したクッキーが詰め込まれており、見ているだけで幸せな気分になれる。

「猫缶」は大人気の上、数量限定の販売となっており、しばしば午前中に売り切れてしまう。取材時も完売していた。

もう一つ人気商品がある。それは、キャラメルとバナナのムースケーキの「とらねこさん」だ。

キャラメルとバナナは非常に濃厚で、強い甘味の中にほ

のかな苦味を感じ、そのバランスが互いを引き立て合っている。バナナムースは甘さ控えめだ。バナナのほのかな酸味がキャラメルと甘さの噛み合っている。

柏堂さんは「見た目だけではなく、味もしっかりこだわっている」と話す。味も見た目も満足な一品である。

ミニネットでは、他にも小さい猫のクッキーがギッシリ詰められた「まるねこ」や、ガナッシュをサンドしたクッキー「にゃんサンド」など、様々な商品が売られている。

営業日は月・金・土・日曜日、営業時間は11時から18時となっているが、売り切れ次第閉店する。

かわいいスイーツを食べたい方には、うつつけのお店だ。

（山本麻衣子）



知るカフェ関西学院大学前店の看板を指す店長の中川万有佳さん11月3月5日、知るカフェ関西学院大学前店、今村早織撮影



店の外観11月25日、西宮市大屋町「パティスリーミニネット」、山本麻衣子撮影

神戸三田キャンパスの新施設 C・ビレッジで竣工式



テープカットに臨む村上二平理事長ら。3月12日、神戸三田キャンパスC・ビレッジG・ドーム前、山下結大朗撮影

この春、神戸三田キャンパスで新たに供用を開始するC・Creation Village（通称C・ビレッジ）の竣工式が3月12日、神戸三田キャンパスであった。

C・ビレッジとは、神戸三田キャンパスの近接地、カルチャータウンの地区センター・南アロックに位置する複合施設である。神戸三田キャンパス初となる学生寮「創新寮」（Genesis Dorm・通称G・ドーム）、起業を志す人々を産学官民の連携により支援するインキュベーション施設「Spark Base」（通称S・ベース）、24時間365日利用可

能なフィットネスジム「FIT365」が入居した商業施設の3つで構成されている。C・ビレッジという名称の由来は、関学生や教職員と地域、企業や行政など多様な人々が集い、枠を越えて共創する（共に創る）拠点となることを目指したことにあ

竣工式に先立ち、G・ドーム前でテープカットと除幕式を開催した。登壇者は、関係者や報道陣に囲まれ、満面の笑みを浮かべながらテープカットと除幕を行った。

竣工式は、G・ドームの1階にあるカフェテリアにて礼拝形式で執り行われた。賛美と祈りのあと、本学の理事長、院長、学長がそれぞれ式辞を述べた。中道基夫院長はC・ビレッジについて「新たな創世、ジェネシスの場」と述べたうえで「神の創造に参与する」ことの大切さを強調した。施設についての報告があ

ったのち、再び讃美歌を歌い、祝福・後奏で幕を閉じた。その後の会見で、永嶋恒治神戸三田キャンパス事務室長はC・ビレッジについて「県や市と連携しながら徐々に地域住民に馴染んでもらいたい」と話した。

C・ビレッジは4月1日に本学構成員を対象に、4月21日に一般の人々を対象に自由利用の仮オープンを行い、5月26日のグランドオープンを目指す。（山下結大朗）

KSCに新施設C・ビレッジ誕生 オープン直前の内部を紹介

今年、神戸三田キャンパスに新たな施設がオープンする。その名は、C・Creation Village（通称C・ビレッジ）。このC・ビレッジは、起業を志す人を産学官民の連携により支援するインキュベーション施設「Spark Base」（通称S・ベース）、神戸三田キャンパス初となる学生寮「創新寮」（Genesis Dorm・通称G・ドーム）、24時間365日利用可能なフィットネスジム「FIT365」が入居した商業施設から構成される。

この記事では、C・ビレッジの概要を、メディア向け説明会で実際に取材した内部の様子とともに紹介する。

創新寮は神戸三田キャンパス初となる学生寮でG・ドームとも呼ばれる。キャンパスの正門から徒歩3分という立地にあるこの寮は、地方出身の学生が安心してキャンパスライフを送れる拠点としての役割を担っている。

構造は地上4階建て。A・D棟の4棟に寮室がある。寮室には備え付けの家具の他、トイレ、シャワーブース、洗面台などが備わる。また、十分な広さの大浴場がシャワーと別に整備されている。

食事はカフェテリアで朝食200円、夕食440円で用意されるほか、自炊することも可能だ。寮の中には調理を行える部屋が多数用意されており、そのコンロはほとんどがIH製になっている。シェアキッチンには食器や調理器具、ホットプレートも完備されており、集まって食事を楽しめるような空間だった。

さらに遊興施設として、リラクゼーションが鑑賞できるシアターがあるほか、鏡張りのダンススタジオ、音楽スタジオがあるなど至れり尽くせりだ。

寮費は、入寮費6万円、寮費5万8千円、管理費1万円。民間と比較すると、寮費は少し安く、広さは半分くらいである。

寮の倍率だが、初年度の今年、在学生に関しては選考なしで希望者全員が入寮。新入生は270人の応募があったが、在学生とのバランスも鑑み90人が入寮することになった。定員300人に対して、1年90人、2年30人、3年10人、4年20人、院生10人の160人でのスタートとなる学生によって製作された



（人数はいずれも凡そ）。在学生の応募が少なかったことについて、永嶋恒治神戸三田キャンパス事務室長は「寮費が高く感じる、或いは駅前にも下宿があり、引っ越し費用がかかるため一度様子見している人も多いのでは」との見解を示した。

I・S・ベース

S・ベースは、起業家の育成、研究成果の社会実装、地域課題の解決の3本柱をコンセプトとしている。学生のみならず、兵庫県や三田市、企業そして住民が集い交流することで地方創生に資する社会変革の実践拠点になることを目指している。

その内部は全体的にゆたかりとされている印象だ。新施設だからその広さを活かした内装になっている。1階はオープンスペースと個室の両方が多く備えられており、用途に応じて使い分けられることができる。

2階には、コワーキングスペースの他に、コミュニティキッチンが備えられている。料理をしながらアイスクレイクすることができるとは画期的だ。また、テラスも設置されており、神戸三田キャンパスを望むことができる。

そんなS・ベースを利用するには会員登録をする必要がある。無料会員は1階のオープンスペースの利用が可能で、ミーティングルーム等是有料で利用可能である。2階の施設を利用するには有料会員に登録する必要がある。一方でカフェやラウンジは登録なしで利用可能だ。

関学生協の新たな施策 ミールパス発行

関西学院大学生生活協同組合（以下、「関学生協」）は11日、在校生向けに「ミールパス」を発行すると発表した。新入生用は在校生用に先行して3月に発売した。新入生では20日強が購入した。

関学生協のミールパスを使えば、通常授業日に1日の上限額まで、生協の食堂など対象の店舗で指定の食品を購入できる。

他大学の生協でも同様の制度があり、関学生協もその制度を導入した。

プランは2種類あり、限度額650円の1日1食利用を想定したものと、限度額1200円の1日2食利用を

コメの高騰を受けて急遽値上げ 関学生協にも直撃

関西学院大学生生活協同組合（以下、「関学生協」）は3月から4月にかけて2回の値上げを行った。

3月の値上げは人件費、運送費などの高騰などを理由としており、予定通りだった。だが、昨年夏頃から、コメ価格が当初の想定を大きく超える価格高騰があったため、4月にライス、カレーライスや丼ものなどのコメを使う商品

を再び値上げした。

例えば、ライス小では105円から143円と前年比136%の価格が上昇した。

関学生協はコメの高騰分をコメに使う全ての商品に転嫁するのではなく、麺類などさ

想定したものだ。限度額である650円は、関学生の食堂の平均利用額500円、550円に小鉢1つをつける想定だ。

ミールパスの発行により生協の各食堂の利用が増加している。この状況を踏まえ、関学生協は食堂等の混雑緩和のため、B号館とF号館で生協手づくり弁当などの販売を始めた。

関西学院大学生生活協同組合フードサービス事業部長の鈴木力さんは「すでに購入した新入生の中には利用があまりできていない方がいらっしやるのでぜひ使ってほしい」と話した。（田爪翔）

さまざまな商品に分散して転嫁することでコメを使う商品の極端な値上げを抑えている。1コメ価格高騰の現状

農林水産省が取りまとめている全国のスーパー約1000店の販売価格によると4月7日から13日までの1週間の平均販売価格は5kgあたり4217円と前年同期で2139円の値上がり公表されている。

比率にすると103.0%と約2倍の値上げで一人暮らしの学生を中心に大きな影響を受けている。

一人暮らしをしている文学部3年の男子学生は「米とか食品の値上げが多くて大変」と窮状を訴えた。（田爪翔）

官僚を目指す学生へ 霞が関セミナー

キャリアセンターキャリア支援課は2月18日から2月21日まで霞が関セミナーを開催した。霞が関セミナーは学生の国家公務員の理解を深めることを目的として、毎年東京丸の内キャンパスで開催されている。

主なプログラムとして官庁訪問があり各官庁の理念や部署の役割、福利厚生を現役の官僚から学ぶことができる。更に関学を卒業した官僚との座談会などもあり、霞が関セミナーは官僚という職業の理解を深める一翼を担っている。

学部2年(は)「霞が関セミナーで十分に官僚への理解を深めることができた」と感想を述べた。防衛省の戦略分析部門で働くことを目指している菊池さんは、印象に残っている霞が関セミナーの思い出として、防衛省での質疑応答を挙げた。菊池さんは「志望している戦略分析部門の方に様々な質問をすることができた。自分のキャリアを考える良いきっかけになった」と語った。更に菊池さんは霞が関セミナーで意外に感じたこととして、官僚のイメージの変化をあげた。一般的に官僚は淡々と答弁する姿がテレビに登場することが多い。しかし霞が関セミナーでは参加した官僚が気さくに学生からの問いかけに答える場面が見られた。菊池さんは「官僚の方を身近な存在として感じることができた。真面目すぎず緩すぎない雰囲気を作って頂いた」とセミナーの雰囲気を回想した。

最後に菊池さんは公務員試験へのアプローチについて「対策を既に始めている。今年の秋には試験を受ける事を視野に入れている。所属している文学部フランス語専修の課題にも取り組むことで、フランス語圏に行くことになったときの備えもしたい」と真剣な眼差しで述べた。

最後に菊池さんは公務員試験へのアプローチについて「対策を既に始めている。今年の秋には試験を受ける事を視野に入れている。所属している文学部フランス語専修の課題にも取り組むことで、フランス語圏に行くことになったときの備えもしたい」と真剣な眼差しで述べた。



霞が関セミナーで実施された関学OBの官僚による座談会。2月20日、日比谷国際ビルコンファレンススクエア、石岡孝憲撮影

「GUTAI」 海外に影響を与える美術家集団

具体美術協会は、1954年に故吉原治良のもとに、阪神間在住の若い芸術家たちが集まり、芦屋市で設立された芸術集団だ。

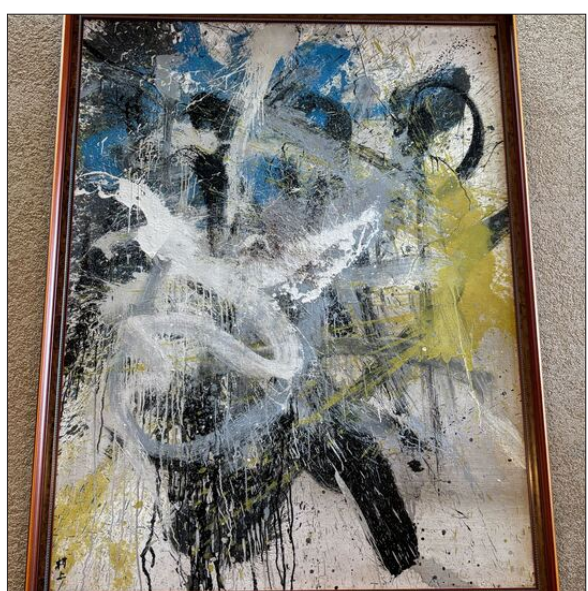
具体美術協会の名は「われわれの精神が自由であるという証を具体的に提示したい」という理念に由来する。結成メンバーは17人で最終的には約60人が参加し、1972年の吉原の急死を機に解散するまで18年間活動した。

具体美術協会作家には4人の関西学院大学出身者がいる。故吉原治良、故村上三郎、故嶋本昭三、故吉原通雄だ。関学大の卒業生である半田まゆみさん(62)は故嶋本昭三に弟子入りし、27年間制作過程

程における通訳や絵画制作の助手として活動した。半田さんは具体美術協会の特徴を三点挙げる。

一つ目は、絵を描くアクションを重視した芸術表現だった。アクションを重視することで絵画に時間性を取り入れた。

二つ目は、1955年から機関紙「具体」を継続的に発行したことだ。1965年までに12冊発行した。



村上三郎氏の作品「作品」 関西学院大学博物館収蔵

シエル・タビエにより海外に紹介された。そして1998年には「Out of Action」という展覧会で具体美術協会の嶋本昭三が世界4大アーティストの一人に選出された。

日本の美術として世界的に評価された「具体美術協会」。1972年の解散後も具体の自由な精神をもとに作られた作品は海外に影響を与えている。

部 だより

JAZZ研究会JAM

ジャズは奥深い音楽だ。自由度の高さと即興演奏が特徴で演奏者の表現が引き立つ。JAZZ研究会JAMでは約60名の会員が各自のペースで演奏の腕を磨いている。

JAZZ研究会JAMは定期的にライブを開催しており、昨年はダンスチームとコラボしたパフォーマンスも行った。

JAMの魅力について会長の中村妙享さん(法学部2年)は「様々なジャンルの音楽を愛する人たちが所属して

いる。ひとえにジャズに縛られず、自由に自分の表現ができること」と話す。JAMには音楽を楽しむ形は違っても、それを受け入れる雰囲気がある。

ジャズの音楽の特徴は演奏者の表現したいフレーズを演奏する箇所があることだ。だからこそ、JAMには自分の好きな音楽を追求している人が多いという。

印象に残っている出来事について、会員の高仙芽さん(商学部2年)は「会員の誕生日



ステージに立つJAZZ研究会JAMの会員。笑顔で写真に写るJAZZ研究会JAMの会員。団体提供

をサプライズで祝ったことや、卒業を祝うパフォーマンスを追加したことが印象に残っている」と振り返る。高

さんは、独自のアイデアをみんなが楽しめる形で実行する人がたくさんいるところを好きだと感じている。

魅力あふれるJAZZ研究会JAMの演奏は耳だけでなく、目からも楽しめる。

エクステンションプログラム 自分の可能性を広げるために活用を

エクステンションプログラムは、資格取得・各種試験対策をサポートするためのプログラムである。正課授業との相乗効果を念頭に置き、厳選した講座を提供している。

このプログラムは、二つの特徴がある。一つ目は、授業との両立だ。講座は原則、放課後キャンパス内で開講されるため、通学時間や交通費の負担がなく、無理なく継続して学習することが可能だ。また、多くの講座がオンラインとハイフレックス型(対面と

オンラインの併用)の受講形態をとっており、予定に合わせ柔軟に受講することもできる。

二つ目は「価格とレベルの高い講義」。一般的な資格専門学校よりも安価で受講可能で、さらに大手専門学校のなどで指導経験豊富な講師が教鞭をとる。

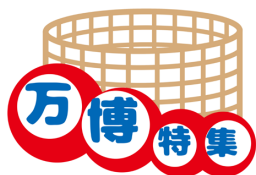
一番人気のある講座は公務員講座だ。キャリアセンターの調査によると、公務員を目指す学生300人のうち、約38%にあたる116人が受講

し90・6割の高い合格率を誇る。他にも宅建建物取引士(宅建士)講座では、2024年度の受講生の合格率が、41・0%で全国合格率の18・6%を大きく上回る。

エクステンションプログラムは、関学大生のうち、約3・8%しか受講しておらず、このプログラムの利用度は依然として低い現状がある。

教務機構事務部生涯学習課の内尾裕美さんは、「大学生活4年間をどのように過ごすかが重要な。早いうちに目指すべきゴールを定め、そのための経験の一つとして資格を考えてほしい」と話した。

(越智優介)



大阪・関西万博開幕

55年ぶりの大阪開催

小さな地球が夢洲に

半年間の世界の祭典

2025年日本国際博覧会（略称大阪・関西万博）が、4月13日、夢洲（大阪市此花区）で開幕した。世界のさまざまな文化に触れようと夢洲は来場者で賑わった。

日本での万博開催は2005年に愛知で開催された2005年日本国際博覧会（略称愛・地球博）以来20年ぶり、大阪での万博開催は55年ぶりとなる。

万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。158の国と地域、9つの国際機関が出席し、それぞれが

特色を生かし、コンセプトであるPeople's Living Lab（未来社会の実験場）に合わせた取り組みを実施している。

国内館の一つである日本館では、官民連携による取り組みの一環として循環型社会をテーマに民間企業の先端技術を駆使した展示がある。

会場では「大屋根リング」だ。直径約675メートルに及ぶこの木造建築は、世界最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定されている。



来場者を出迎えるミヤクミヤクの像。4月6日、大阪・関西万博夢洲会場東ゲートゾーン、田爪翔撮影

大屋根リングの上部と地上の間にはエスカレーターとエレベーターが設置されており、自由にリングの上を歩くことができる。リングの上では万博会場の景色を写真に収めようとスマートフォンを構える来場者が多くいた。

会場では公式キャラクター「ミヤクミヤク」と写真を撮る親子連れが多く、オフィシャルショップではミヤクミヤクがあしらわれた商品を手に取る客であふれた。

万博協会は全体で約2820万人の来場者を見込む。そのうち国内では2470万人、海外からの来場者が350万人だ。

大阪・関西万博は10月13日まで開催される。（田爪翔）

EXP Oを舞台に堂々の演舞

応援団総部

応援団総部は4月29日、万博夢洲会場ホップアップステージ東内で「そんなあなたを応援します」in EXP O」を行った。

本企画は「何かに挑戦したい」「元気をもらいたい」など、応援を必要としている人に応援団総部が熱いエールを送るイベントとして2006年から実施されている歴史あるイベントだ。今回、特別に万博会場で行われた。

多くの人がにぎわう中で行われた演舞は、大迫力だった。最初に行ったオープニングステージでは大阪・関西万博のテーマソングである「この地球の続きを」を応援団総部吹奏楽部の演奏と共にチャリディング部が踊りを、指

導部が歌を合唱した。第一二部ステージでは、応援団総部に属する3つの部活がそれぞれ単独ステージを行った。終盤には応援団総部全体で「スペシャル応援メドレー」と題して体育会の応援の際に行う応援を行った。スペシャル応援メドレーでは観覧者にもコールをしてもらうなど参加型で会場全体が一つになった。

最後に、応援団総部第79代団長渡部裕太さん（文学部4年生）の指揮のもと校歌「空の翼」を斉唱し演舞は終了した。

観覧に来た河上直明さん（68）は「すごく感動した。応援団の真剣に取り組む表情も良かった」と語った。（久保田創士）



演舞の締めくくりの様子。4月29日、大阪・関西万博夢洲会場ホップアップステージ東内、田爪翔撮影

大阪・関西万博開催記念 ACN EXPO EKIDEN 関学生5区を力走

「大阪・関西万博開催記念ACN EXPO EKIDEN」が3月16日、開催した。若手の雨模様の中、関西学院大学からは関西学連選抜チームの一員として山下慶馬選手（社会学部2年）が出場し、各チームの有力選手が集ううらで力走をみせた。

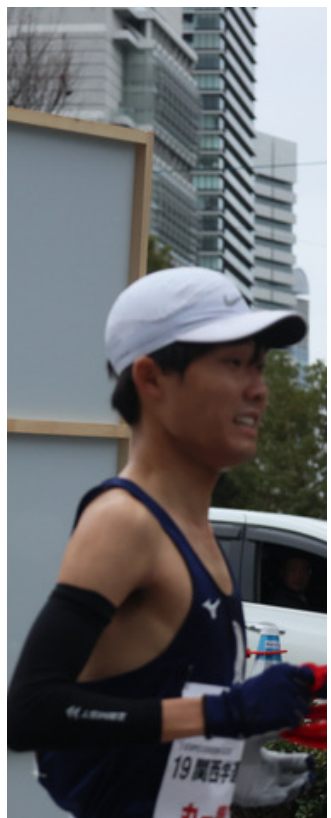
山下選手は今回の大会に向けて、選出が決まる数か月前から目標とする大会の一つとして練習を続けてきたとい

う。全国区で知名度のある他大学や、日本屈指の社会人チームとの共演となった今回の大会について「結果はそんなに良くなかったが、すごくいい経験ができたと思う」と前向きに振り返った。

大会のコースの沿道には、途切れるところがないほどに観客が訪れ、選手に声援を送っていた。特に、大阪府が中心である関西学連選抜チームへ数多くの声援があり、山

下選手は「ずっと人がいて、すごく力になった」と感謝を述べた。

山下選手は今後に向けて、「関西学院大学として、昨年叶わなかった全日本大学駅伝に出場したい」と、今回の経験を糧に今後の成長を誓った。（宝本拓夢）



選抜の1人として出場する山下選手。3月16日、朝日放送テレビ前、山本一貴撮影

Mastery for Service
羽ばたけ、世界市民

神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか
電気設備保全会社 畑中電気合同会社

〒653-0834
兵庫県神戸市長田区川西通5丁目107番地の8

科学絵本作制 記念イベント開催

学生団体UNIVERS&は3月25日、上ヶ原キャンパスG号館101教室で科学絵本作制記念イベント「きつともつと宇宙を好きになる」を開催した。

UNIVERS&は大学公認の学生団体で現在21名の学生が所属している。2021年に現代表の山下音緒さん（理学部4年）が設立し「一人ひとりが宇宙を創造すること、思いやりの心を広げる教育を届けます」という理念のもと、様々なイベントを開催している。

本イベントはUNIVERS&が制作したオリジナル絵本「広がれ、きみの宇宙」の完成を記念して、宇宙の魅力

ことがあらゆる世代の人々に共通する教養を身につけることにつながる」と解説した。山下さんは「ヨビノリたくみさんを自分たちの主催するイベントに呼び出すことが一つの大きな目標だった」と語った。またヨビノリ氏も実際に学生たちを前にして授業をすることはあまりないの

で、貴重な体験が出来た」と述べ、双方ともに実りのあるイベントとなった。また山下さんは今回のイベントを一つの集大成とした上で、「今後も後輩たちには、今までの活動を引き継いでいって欲しい」とUNIVERS&の今後について語った。（松浦颯太郎）

硬式野球部春季リーグ 開幕戦を快勝

開幕戦を快勝

体育会硬式野球部は4月5日、わかさスタジアム京都（京都府京都市）で行われた関西学生野球連盟春季リーグ戦第1節に出場し第1戦は京都大学に11-0で大勝した。

試合は今季左のエースとして期待される飯田泰成選手（人間福祉学部3年）がマウンドで躍動した。開幕投手としてマウンドに上がった飯田選手は直球が150km/hを記録した場面もあるなどノビのある直球とテンポの良い投球で打者を手玉に取り7回を80球



参加者からの質問に答えるヨビノリたくみ氏。3月25日、西宮上ヶ原キャンパスG号館101教室、松浦颯太郎撮影

点を記録した高嶋選手は「新チームは、長打が多いわけではないのでつなぐことを意識した」と語った。

開幕戦を勝利した関学大は第1戦、序盤に2点を追いかける展開となったものの、4

回の2本の長打などによる5得点などで逆転し7-5と接戦を制した。

関学大は京大から2連勝し勝ち点を挙げた。リーグ3連覇に向けて幸先の良いスタートとなった。（久保田創士）

2025年度春季入学式 5943人が入学

春季期入学式が4月1日と2日、西宮上ヶ原キャンパスであった。今年度は5943人が入学した。

1日の式では神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパスの学部を含む10学部、2日の式では西宮上ヶ原キャンパスにある4学部の新入生を迎えた。今年は、入試志願者数が1975年以来、過去最多を50年ぶりに更新した。グリークラブやウィメンズグリークラブ、応援団総務部吹奏楽部、混声合唱団エゴラド、関西学院聖歌隊が、新入生たちを合唱で迎えた。

森康俊学長は、学びについて現在の生成AIに触れ、「私たち関西学院大学で学ぶ者は、現場に足を運んで手を使い、自分の頭で問題を整理して目の前の相手と対話することで自分が見つけた文化や科学上の疑問を解くために集まっています」と言葉を贈った。

式典に参加した神学部男子学生は「サークルなどに入って先輩などとの縦の関係を築いていきたい」と目標を話した。

国際学部の男子学生は「海外の人達含め様々なつながりを作っていきたい」と抱負を語った。（田川翔）



関学大春季期入学式。4月1日、関西学院広報室提供

学生の手で報じ続けて 2700 号超。

京都大学新聞

◆2025年4月で創刊100周年
学生新聞 京都大学新聞社
TEL: 075-761-2054
E-mail: kup@ops.dti.ne.jp
URL: https://www.kyoto-u.jp/

周年

関西学院大学新聞をお読みの皆様へ

京大新聞100周年号 無料で読めます！

【京大新聞 試し読み企画のご案内】申込締切: 6月30日(月)
100周年記念の特別紙面として発行する「京都大学新聞」4月1日号を、
関西学院大学新聞の読者の皆様へ無料でお届けします。

新聞代・送料、一切不要です！

ご希望の方は、Google フォーム（右記 QR コード）
またはメール（kup@ops.dti.ne.jp）にてお申し込みください。

メールの場合、ご希望の送付先とお名前に加えて、
①100周年号試し読み希望 ②応募キーワード「関学新聞を読んだ」
の2点をご記載ください。お申し込みお待ちしております。

京都大学新聞社編集部